

工学院大学建築学部 特別講演会2018

建築家。1979年東京生まれ。Atelier Tsuyoshi Tane Architectsを設立、フランス・パリを拠点に活動。2006年にエストニア国立博物館の国際設計競技に優勝し、10年の歳月をかけて2016年秋に開館。また2012年の新国立競技場基本構想国際デザイン競技では『古墳スタジアム』がファイナリストに選ばれるなど国際的な注目を集める。場所の記憶から建築をつくる「Archaeology of the Future」をコンセプトに、現在ヨーロッパと日本を中心に世界各地で多数のプロジェクトが進行中。主な作品に『エストニア国立博物館』（2016年）、『A House for Oiso』（2015年）、『とらやバリ店』（2015年）、『LIGHT is TIME』（2014年）など。フランス文化庁新進建築家賞、フランス国外建築賞グランプリ、ミース・ファン・デル・ローエ欧州賞2017ノミネート、第67回芸術選奨文部科学大臣新人賞など多数受賞。2012年よりコロンビア大学GSAPPで教鞭をとる。

田根 剛

Tsuyoshi Tane



Estonian National Museum/エストニア国立博物館
Photo: Eesti Rahva Muuseum / image courtesy of DGT.



Kofun Stadium, New National Stadium of Japan/新国立競技場案 古墳スタジアム
Image: courtesy of DGT.

Archaeology of the Future

2018/11/16 [Fri]

18:30-20:30 [OPEN 18:00]

工学院大学

新宿キャンパス3F

アーバンテックホール

東京都新宿区西新宿1-24-2



Todoroki House in Valley
Photo: Yuna Yagi



定員：250名 [事前申込による先着順]

入場無料申込：HPよりお申し込み下さい

<http://www.kogakuin.ac.jp>

主催：工学院大学

問合せ先：工学院大学建築学部講演会事務局

tel: 03-3340-0140

mail: infokenchiku@cc.kogakuin.ac.jp